

資料 3 南部サービスポイントの名称および連携・協力体制図(図 7)の修正に係る意見等

第 4 章 図書館整備に向けた考え方 南部サービスポイントの名称修正に関する意見

当初の「南部館」という名称が最もふさわしいと考える。

機能も他の 3 館と比較すると見劣りし、かなりの格差を感じる。当初に示されていた 3 館体制では明確に「南部館」と位置づけられ、南部の拠点になっていたため、地域住民感情からしても格下げの印象が強い。読書熱が高い稲枝地域からは地域間格差を感じており、フルスペック・フル装備の南部館を強く希望する。南部サービスステーションという名称にも他の館と名称・機能も違い抵抗感がある。「脚注 1：図書館以外で、図書館のサービスを受けられる場所のこと」とあり、さらに違和感がある。

地域住民や町づくり協議会、稲枝地域の保・幼・小・中学校、読書ボランティア団体等関係者から広く直接意見を聞く公聴会・協議会等の機会を是非設けてほしい。

P22 「サービスステーション」→「南部館」の修正

p 23 ②書庫 5 行目(仮称)中部館→付け足して「南部館」

p 30 5 南部サービスステーションについて

- ・ サービスステーションの名称→「南部館」 ・ P29 の項を用いる
- ・ 設置場所は、公共施設が集積した稲枝支所周辺のエリアが望ましい→南部館整備場所で明記されていた文言「整備場所については、市の南部にあって、公共機関を使った利用ができ、幅広い年齢層からの利用が見込めるところにあって、一定の用地が確保できる場所を考え、JR 稲枝駅西口周辺から公共施設が集積した稲枝支所周辺のエリアが望ましい」とする。

* 稲枝地域には駅東に聖泉大学、商業施設等があり、利用者増が見込まれる。西口周辺地域には小学校・幼稚園・保育園もあり、歴史的文化的価値が高い「稲部遺跡」もある。今後埋蔵文化保存のための具体的な動きがあれば、稲枝駅周辺部を例えば「文化学術研究」の拠点として、総合的に整備して町づくりを推進することが出来る。

・記述の中の「分館的な機能を兼ね備えた」とはどのような機能なのか。具体を示してほしい。分館との違いは何なのか、示してほしい。

第4章 7 図書館と各関係機関・施設・団体との連携・協力について

・南部サービスステーションの欄は

南部館

○図書館サービス業務

○開架スペース等スペース等の設置による学びの応援 他

○読書ボランティア団体などの活動支援

○特設コーナーによる情報発信

を追記する。